

## 令和元年度 優良会員事業所表彰制度 受賞事業所が決定

当所では、経営意欲を高め、地域経済の活性化を図ることを目的として、経営革新や地域貢献などを積極的に推進している会員事業所を顕彰する「優良会員事業所表彰制度」を平成17年度から実施しています。制度スタートから10年目の平成27年度に表彰基準を見直し、これまでに109事業所を表彰してきました。

3月27日、令和元年度の優良会員事業所表彰制度を受賞された3事業所をたたえる式典を開催しました。各社の取り組みとともにご紹介します。



**受賞された3社の代表**  
(前列左から) 大久自動車販売(株)・大槻一博社長、(株)アポロガス・相良社長、渡邊会頭、(同)TSUMIKI・藤原代表社員

### 優良会員事業所表彰制度 応募・推薦基準

#### 経営革新賞

- ・製品(商品)製造において独自の技術・技能を持ち、他の模範と認められる事業所
- ・独自のサービス手法、商品の販売手法を持ち、他の模範と認められる事業所
- ・製品(商品)開発や業務改善において成果・実績が認められ、他の模範と認められる事業所
- ・既存事業からの転換、多角化によって新分野に進出し、他の模範と認められる事業所
- ・顧客満足度の向上に積極的取り組み、他の模範と認められる事業所
- ・地域ブランドの企画、開発、販売、市場開拓などを行い、地域ブランドの向上に取り組んでいる事業所
- ・地域ブランドを活用して福島のPRを積極的に行っている事業所

#### 環境改善賞

- ・省資源、省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所
- ・過剰包装削減、マイバッグ推進運動に積極的に取り組んでいる事業所
- ・3R(リデュース、リサイクル、リユース)に積極的に取り組んでいる事業所
- ・顧客、社員の環境問題への意識高揚に積極的に取り組んでいる事業所

#### 地域貢献賞

- ・福島市のまちづくりや活性化、交流人口の増加、風評被害の払拭等に貢献している行書
- ・コミュニティ活動やボランティア活動等を通じ、地域活動に貢献している事業所
- ・子育て世代の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所
- ・高齢者、障がい者雇用を推進し、地域社会に貢献している事業所

主 管：当所中小企業振興委員会

2月12日に開催した選考委員会で厳正な審査の結果、右の3社を選出しました。  
栄えある受賞、誠におめでとうございます。

### 環境改善賞

#### 株式会社アポロガス

飯坂町八景6-17 電話542-1122  
相良元章 代表取締役社長 昭和46年創業  
<http://www.apollogas.co.jp/>

「福島が笑えば世界が笑う」のキーワードの下、LPガス販売、太陽光発電設備設置・施工・販売、リフォーム等のアポログループ各社は、環境問題に配慮した再生可能エネルギーの普及啓発に努めながら、職場環境の改善も図りながら事業展開を図っています。

福島県の目指す「2040年代中にエネルギー需要を100%再生可能エネルギーで生み出す」という目標に賛同し、2000年11月から太陽光発電事業、ソーラーファーム事業、木質バイオマス事業を開始したアポロガス。

グループ会社の福島ハイドロサプライ(株)では、商用としては日本初となる再生可能エネルギー由来の水素を利用した移動式水素ステーションを運用し、2018年4月から水素自動車へ水素を供給しています。

2015年6月には「ふくしま再エネパーク」を建設して、再生可能エネルギーが身近に感じられる体験型学習施設を広く開放し、県内外から年間1,000名ほどの見学を受け入れています。

社員の育成にも熱心な同社では、2015年から社員研修プログラム「アポロ大学」を実施し、多岐にわたる研修が仕事へフィードバックされています。



移動式水素ステーション

### 地域貢献賞

#### 大久自動車販売株式会社

本内字北古館9 電話 572-3241  
大槻一博 代表取締役社長 昭和21年創業  
<https://www.daiq.co.jp/>

同社は74年前に福島県福島市で自転車販売・修理店として始まりました。時代の移り変わりとともに自動車販売・整備にシフトし、2007年には販売商品を軽自動車の未使用車に特化しました。現在では福島市、郡山市、いわき市、白河市に販売店と整備・钣金工場を展開しています。

人材不足が深刻化する自動車整備士を目指す学生の育成や支援を目的として、整備士の資格を持っていなくても働きながら資格取得を目指す社内塾制度や、整備専門学校へ進学する学生への支援として企業奨学金制度も創設しています。また、令和2年1月には、福島県立テクノアカデミー会津校をはじめとする整備専門学校に、自動車整備を学ぶ教材として実習車を寄贈しています。最近では、地域の小中学校の職場体験、高校生への職業講話なども積極的に行っており、地域を担う子どもたちに自動車業界に対する興味を持つきっかけを提供しています。

また、東日本大震災の翌年から、福島県の「東日本大震災ふくしまこども寄附金」に、売り上げの一部を寄附する活動を続けており、大槻社長は「最低でも震災の年に生まれた子どもが成人を迎えるまでは続けたい」と話しています。



未来の担い手へ自動車を寄贈

### 委員長特別賞

#### 合同会社TSUMIKI

佐倉下字二本榎13-1 電話 572-7307  
藤原光一郎 代表社員 平成27年創業  
<https://www.tsumiki.group/>

「世のため人のためになることをしよう」という経営理念のもと、同社は国土交通省の許認可を受け、福島市で初となるセーフティネット住宅を2019年8月に佐倉下にオープンしました。

「つみきの家」と名付けられたこの物件は、「空き家対策」と「要配慮者への住まいの提供」という国が抱える二つの重要課題解決の一助として注目を集めています。

高齢者や障がい者、低所得者であっても、「安心」「自由」「自立」したシェアハウスは全て個室。建物内には共同浴室、ラウンジ、応接室が完備され、入居者が快適に生活できるような設備となっています。

藤原代表によると、入居者の年齢は40~80歳まで幅広く、まだまだ社会貢献を目指す方も多いため、そうした方々が活躍できるよう仕組み作りを進めているそうです。

同社は、「つみきの家」以外にもコンサル事業などを運営しています。「困ったことがあれば、TSUMIKIに相談しよう」「お客様に『ありがとう』と言ってもらえる存在になろう」と掲げられた未来像に向かって歩んでいます。



本社機能も兼ねる「つみきの家」